

2013年3月期第2四半期 決算説明会

2012年10月31日
株式会社トプコン
取締役社長 内田憲男

2013年3月期第2四半期 決算説明会

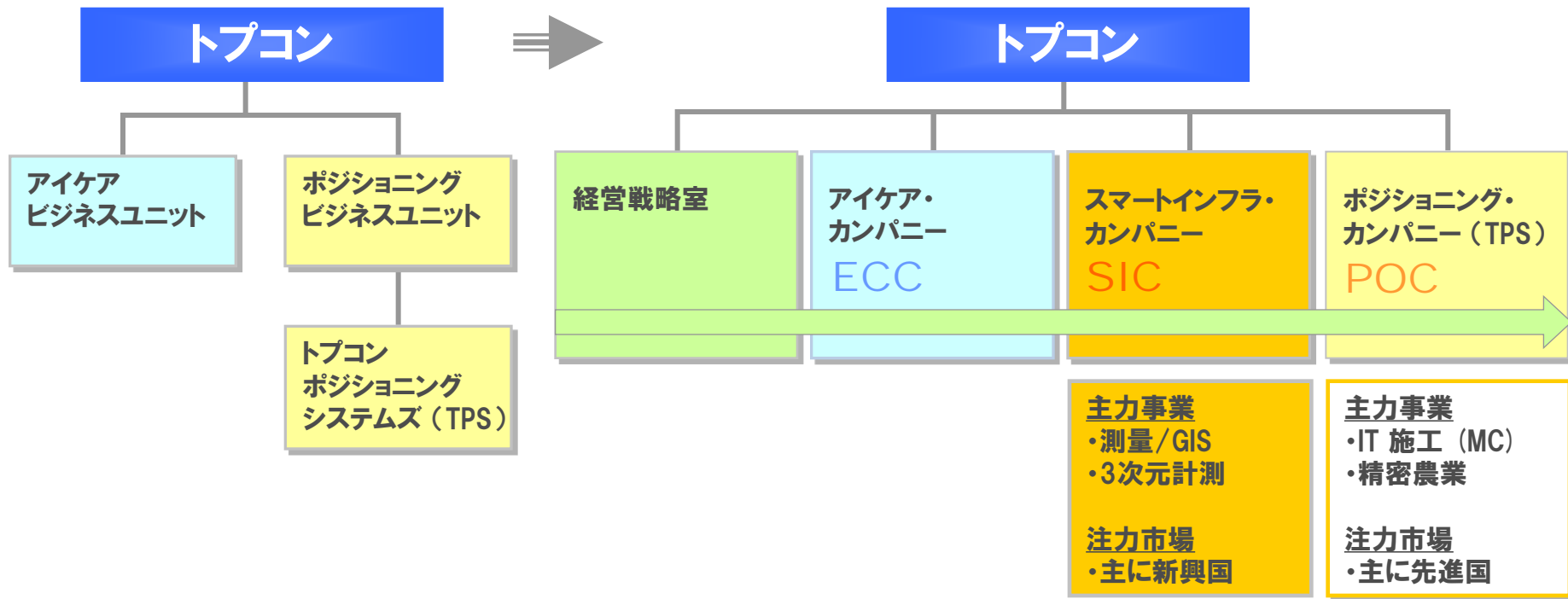
I 2013年3月期第2四半期決算報告

II 2013年3月期通期計画

III 参考資料

I. 2013年3月期 第2四半期決算報告

対象事業と対象市場の明確化



成果：経営責任の明確化による経営スピードの加速！

主な施策

- ① 戦略新製品の投入
- ② 国内連結人員の削減
- ③ 旧ファインテック事業の選択と集中は計画通り



■ 全てのカンパニーで前年同期比増益達成(営業利益)

	SIC	POC	ECC
為替控除前	+8億円	+1千万円	+6百万円
為替控除後	+9億円	+3億円	+3億円

■ 国内連結は大幅増益(営業利益) 前年同期比+15億円

戦略新製品の確実な上市

SIC

新型トータルステーション / 世界初TSshield(6月発売)

➔ 大幅増益は下期以降も継続

POC

世界初GPS(9月発売)

➔ 下期から売上・利益に寄与

ECC

戦略商品の開発

➔ 予定通り進行中。発売は下期の予定

Reformにより筋肉質化を実現



開発効率・製造効率・営業効率ともに大幅上昇

(百万円)

	2009/上(A)	2012/上(B)	(B)/(A)
一人当たりの新製品売上高(技術者)	19.2	38.2	199%
一人当たりの生産高(製造人員)	14.6	17.1	117%
一人当たりの売上高(正規従業員)	10.8	15.2	141%

円高の影響と対応策

円高の影響 < 2012年度上期為替の影響額(計画比) >

営業利益

△5億円

経常利益

△10億円

	2012年度為替レート		期初計画からの 2Q累計の影響額合計	
	期初前提レート	期中平均レート	売上高	営業利益
US\$	80円	79.43円	△1億円	△1億円
EUR	110円	101.12円	△9億円	△3億円
ドル/ユーロの クロスレート	1.37ドル/ユーロ	1.27ドル/ユーロ	—	△1億円
合計			△10億円	△5億円



対応策

Reformの前倒しが必要

2013年3月期 第2四半期実績



(単位:百万円)

[連結]	FY2011/1H	FY2012/1H			2012年7月31日	
	実績	実績 A	前年同期比	為替影響除く B ※1	公表値	為替影響除く C ※2
売上高	49,577	46,121	△3,456	47,511	51,000	47,133
売上総利益 (売上総利益率)	18,886 (38.1%)	19,400 (42.1%)	514	20,541 (43.2%)		
販管費	18,369	17,894	△475	18,338		
営業利益 (営業利益率)	517 (1.0%)	1,505 (3.3%)	988	2,202 (4.6%)	2,000 (3.9%)	2,008 (4.3%)
営業外損益	△1,205	△1,019	186	△1,234		
経常利益	△688	486	1,174	968	1,400	1,452
特別損益	△642	△1,162	△519	△1,162		
税引前利益	△1,331	△675	656	△193		
四半期純利益	△1,960	△1,221	739	△931	400	△642
中間配当(円)	2円	2円			2円	
為替 換算レート (期中平均)	US\$	79.73円	79.43円		80円	
	EUR	114.09円	101.12円		110円	

※1 Bは実績Aを前年同期の為替で換算しています

※2 Cは実績Aを公表値の為替で換算しています

2013年3月期 第2四半期実績(カンパニー別)



(単位:百万円)

[連結]		FY2011/1H	FY2012/1H			2012年7月31日	
		実績	実績 A	前年同期比	為替影響除く B※1	公表値	為替影響除く C※2
売上高	スマートインフラ	9,274	9,535	261	9,659	12,000	9,613
	ポジショニング	16,729	16,380	△349	17,063	18,000	16,894
	アイケア	15,620	14,478	△1,142	15,059	16,000	14,890
	その他	7,952	5,728	△2,224	5,730	5,000	5,736
	合計	49,577	46,121	△3,456	47,511	51,000	47,133
営業利益 (営業利益率)	スマートインフラ	△19 (△ 0.2%)	756 (7.9%)	775	889 (9.2%)	600 (5.0%)	856 (8.9%)
	ポジショニング	528 (3.2%)	538 (3.3%)	10	853 (5.0%)	900 (5.0%)	774 (4.6%)
	アイケア	424 (2.7%)	430 (3.0%)	6	679 (4.5%)	800 (5.0%)	597 (4.0%)
	その他	△416 (△ 5.2%)	△219 (△ 3.8%)	197	△219 (△ 3.8%)	△ 300 (△ 6.0%)	△219 (3.8%)
	合計	517 (1.0%)	1,505 (3.3%)	988	2,202 (4.6%)	2,000 (3.9%)	2,008 (4.3%)

※1 Bは実績Aを前年同期の為替で換算しています

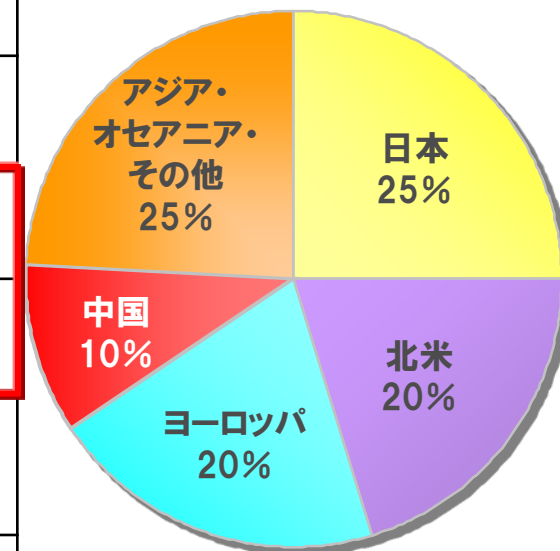
※2 Cは実績Aを公表値の為替で換算しています

国内・海外売上高(前年同期比) <中国依存率は低い>



(単位:百万円)

[連結]	FY2011/1H	FY2012/1H			FY2012/1H 地域別売上構成比
	実績	実績	前年同期比 (%)	為替影響と 旧ファインテック 事業を除く (%)	
日本	11,627	11,496	99%	115%	<p>日本 25% 北米 20% ヨーロッパ 20% アジア・オセアニア・その他 25% 中国 10%</p>
北米	9,326	9,400	101%	101%	
ヨーロッパ	10,899	9,326	86%	95%	
中国	5,565	4,738	85%	87%	
アジア・オセアニア・その他	12,160	11,161	92%	100%	
合計	49,577	46,121	93%	101%	



「営業利益」増減益要因分析（前年同期比）



[連結]

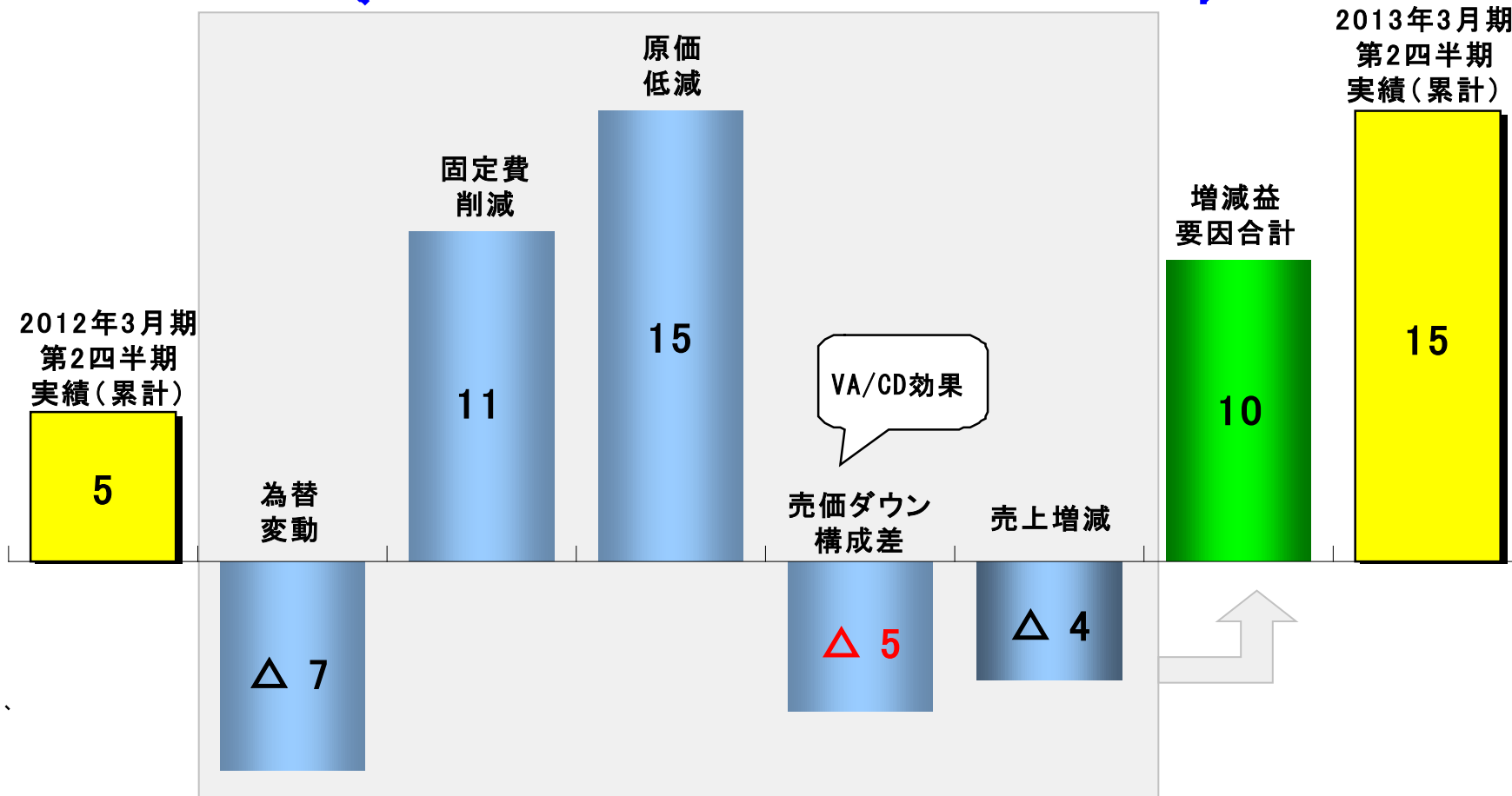
(符号は損益ベース)

2012年3月期
第2四半期累計



2013年3月期
第2四半期累計

(単位: 億円)



II. 2013年3月期通期計画

1. 市況の変化

欧州のソブリンリスク、中国のカントリーリスクを考慮

2. 為替レートの変更と対応

■ 為替の前提を変更

80円/ドル・110円/ユーロ



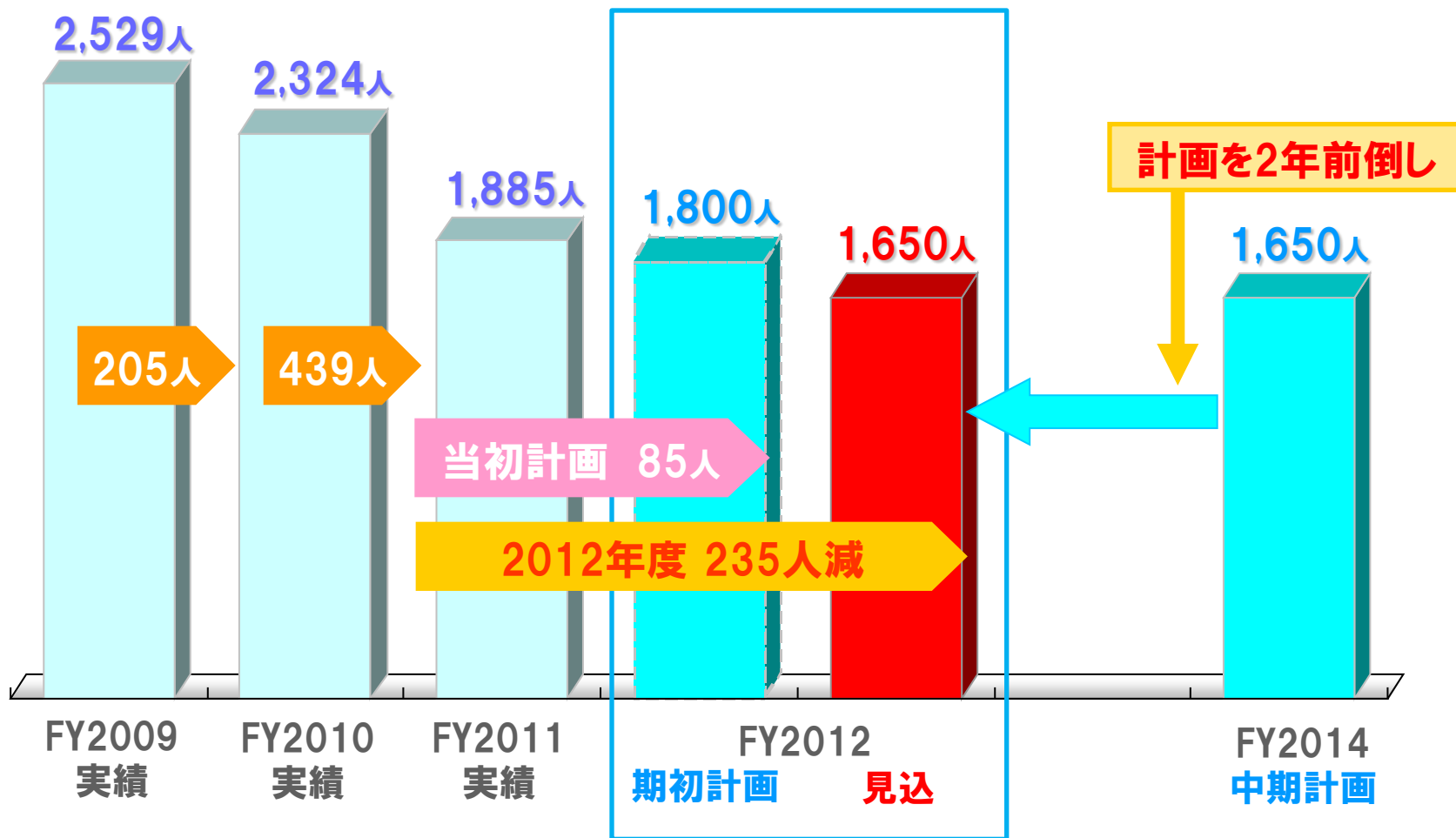
75円/ドル・95円/ユーロ



Reform計画の前倒し

3. 戦略新製品の確実な上市

Reformの前倒し<国内連結人員数削減を加速>



2012年度下期に国内工場を統廃合

5拠点 → 3拠点

中期経営計画
2014年度までに実施予定



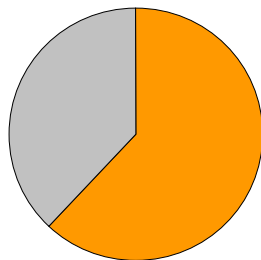


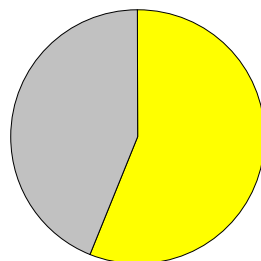

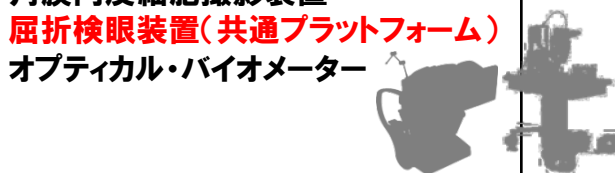
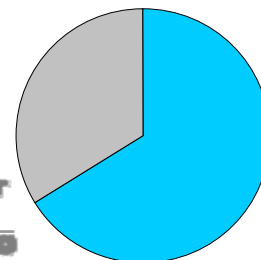
2012年度で完了

影響と効果 下期は特損が出るが来年度以降は為替分を取り返す

2012年度 : 特別損益 Δ 10億円

2013年度以降: 営業利益 20億円

〔人員削減コスト 15億円
ランニングコスト 5億円〕

カンパニー	主な新製品		戦略製品群 売上構成比(%)
	上期(実績)	下期(見込)	
スマートインフラ	<p>トータルステーション 世界初 (クラウド対応) 3次元計測 レーザー機器</p> 	<p>トータルステーション(低価格) トータルステーション (モータードライブ) 世界最軽量</p> 	
ポジショニング	<p>GPS受信機 世界最小・最軽量 GPS用ソフトウェア(クラウド対応) 業界初 GNSSボード 世界最小</p> 	<p>農業用オートステアリングシステム 世界最小 建機・農機向OEMビジネス</p> 	
アイケア	<p>ハイエンドOCT[※] 世界初 スリットランプ 検眼機器</p> 	<p>普及型OCT 世界初 レーザ治療器(新ラインアップ) 世界初 角膜内皮細胞撮影装置 屈折検眼装置(共通プラットフォーム) オプティカル・バイオメーター</p> 	

※OCT・・・Optical Coherence Tomography

新製品の投入（2012年度の見込）

（機種）

カンパニー	FY2012				FY2012-FY2014 見込
	1Q 実績	2Q 実績	2H 見込	年間 見込	
スマートインフラ	2	2	2	6	18
ポジショニング	3	3	2	8	23
アイケア	0	5	6	11	17
合計	5	10	10	25	58

2013年3月期 通期業績見込



(単位:百万円)

[連 結]		2011年度	2012年度		2012年7月31日
			通期	通期見込	
		実績	修正値	前年度比 (%)	
売上高		98,834	98,000	99%	108,000
営業利益 (営業利益率)		2,080 (2.1%)	5,000 (5.1%)	240%	8,000 (7.4%)
経常利益		467	3,200	685%	6,800
当期純利益		△3,686	500	—	3,000
ROE		△10.6%	1.6% [※]		8.8%
ROIC		1.6%	4.5%		6.8%
配当		4 円	6 円		6 円
為 替 換算レート (期中平均)	US\$	79.30 円	77.38 円		80 円
	EUR	110.17 円	98.30 円		110 円

為替レートは10月以降75円/ドル、95円/ユーロを前提としております

※特損控除後のROE 4.6%

次のリスクを織り込むことにより、**業績見込は保守的に見えています**

★売上高

(対公表値)

修正の背景	修正額
為替前提レートの変更による	△40億円
欧州及び中国の更なる景気悪化リスクによる	△60億円
	合計 △100億円

★営業利益

修正の背景	修正額
為替前提レートの変更による	△20億円
欧州及び中国の更なる景気悪化リスクによる	△10億円
	合計 △30億円

欧州・中国の構造改革を実施し更なる改善を行なっています

2013年3月期 通期業績見込（カンパニー別）



（単位：百万円）

[連 結]		2011年度	2012年度		
			通期	通期見込	
		実績	修正値	前年度比 (%)	公表値
売上高	スマートインフラ	19,656	21,000	107%	25,000
	ポジショニング	33,000	33,000	100%	37,000
	アイケア	32,598	33,000	101%	35,000
	その他	13,579	11,000	81%	11,000
	合計	98,834	98,000	99%	108,000
営業利益 (営業利益率)	スマートインフラ	975 (5.0%)	1,600 (7.6%)	164%	2,500 (10.0%)
	ポジショニング	508 (1.5%)	1,400 (4.2%)	276%	2,500 (6.8%)
	アイケア	1,766 (5.4%)	2,000 (6.1%)	113%	3,000 (8.6%)
	その他	△1,168 (△8.6%)	0 (0%)	-%	0 (0%)
	合計	2,080 (2.1%)	5,000 (5.1%)	240%	8,000 (7.4%)

「営業利益」増減益要因分析(前年度比)



修正後

[連結]

2012年3月期
通期実績

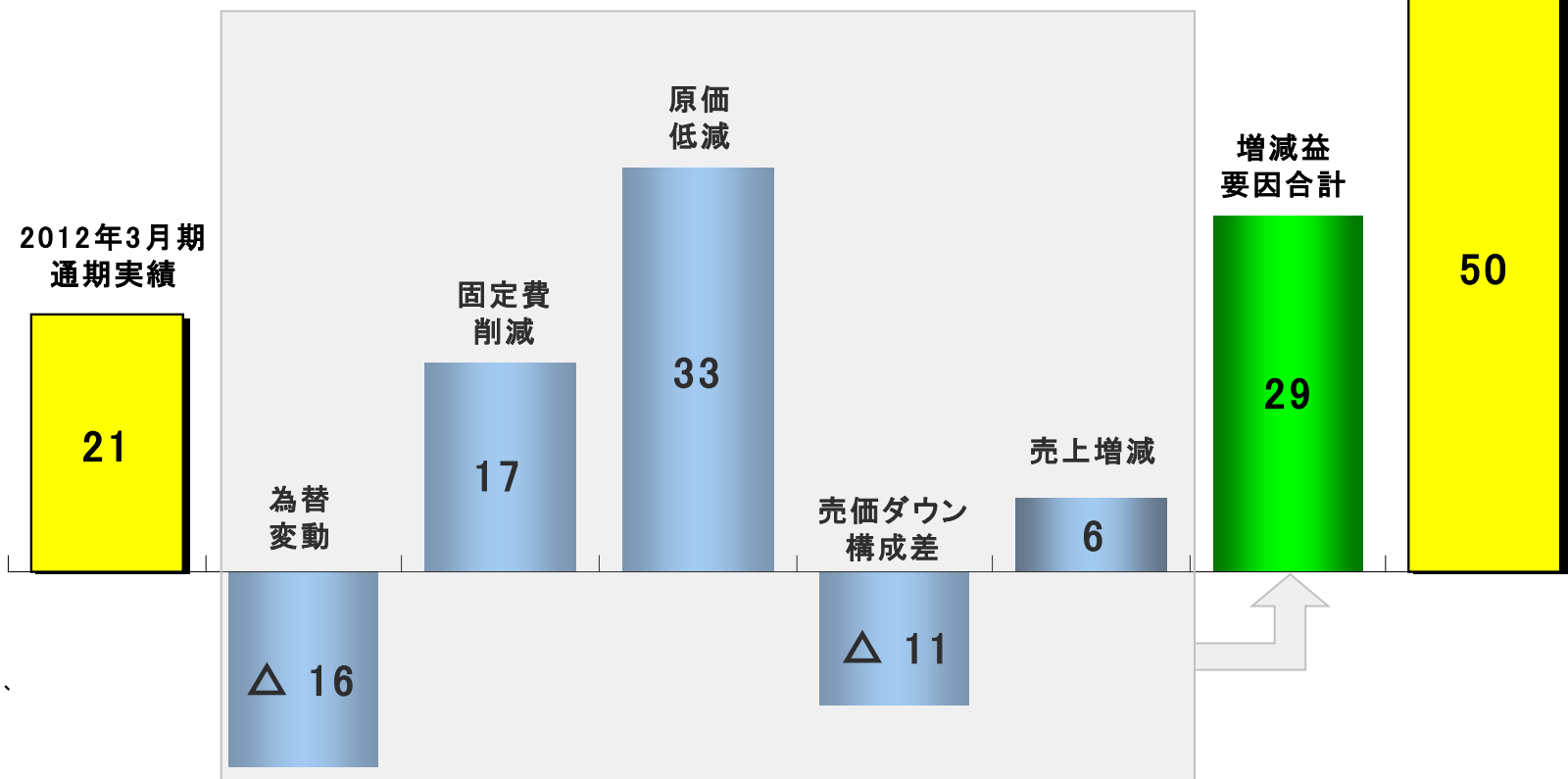


2013年3月期
通期見込

(単位: 億円)

(符号は損益ベース)

2013年3月期
通期見込



1. スマートインフラ - 事業戦略:新興国市場への注力

インフラ整備が急拡大する**新興国市場**をターゲット



★ **低価格トータルステーション**

New



★ **世界最軽量
モータードライブトータルステーション**

New

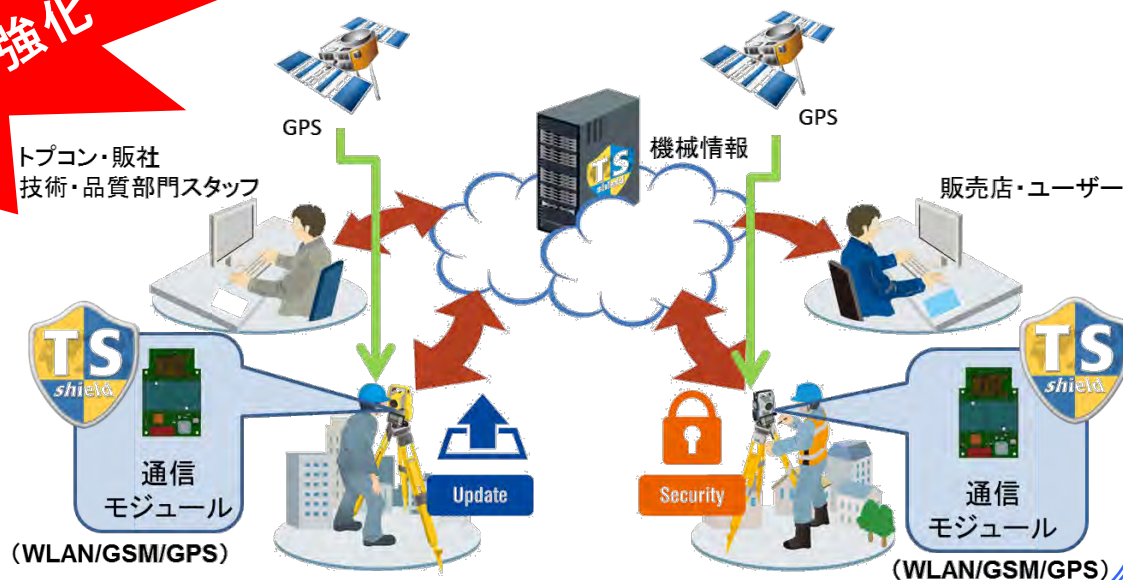


1. スマートインフラ - 商品力強化:クラウドサービスの導入

New TSshield:

世界初のトータルステーション・クラウドサービス(発売済)

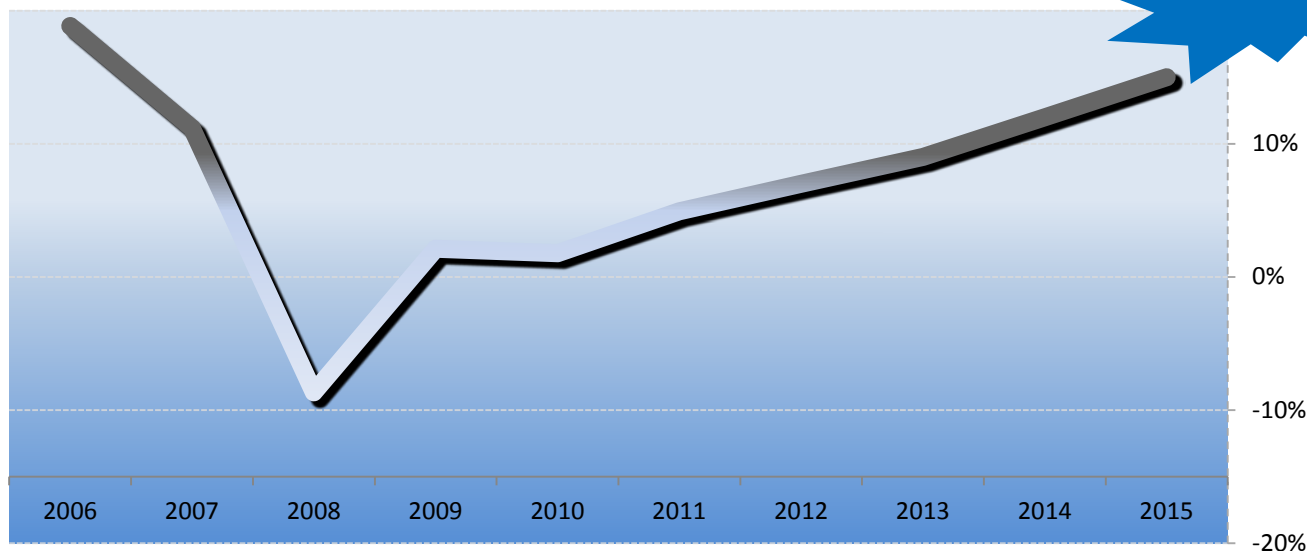
ユーザーをクラウドで
つなぎ、サポートを強化



2. ポジショニング – 事業戦略:事業構造改革の推進

“Reform 15” – ポジショニング・カンパニーにて構造改革をさらに推進

■ 2015年度に**営業利益率15%**を達成

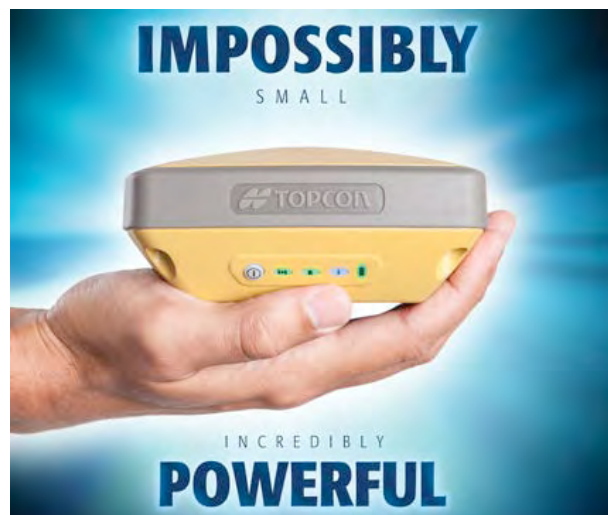


2. ポジショニング – 商品力強化: 他社の追隨を許さぬ商品力

新型戦略商品の投入

- **世界最小・最軽量**のGPSを投入
➡ 作業者の負担を減らし測量作業をより簡易でスピーディに！

New 世界最小・最軽量GPS
「HiPer SR」(9月リリース済)



2. ポジショニング – 商品力強化:技術革新で世界をリード

- **世界最小高精度GPSチップを導入**
 - ➔ 従来の四分の1以下のサイズで
最高の処理速度と電力消費効率を実現
(9月リリース済)

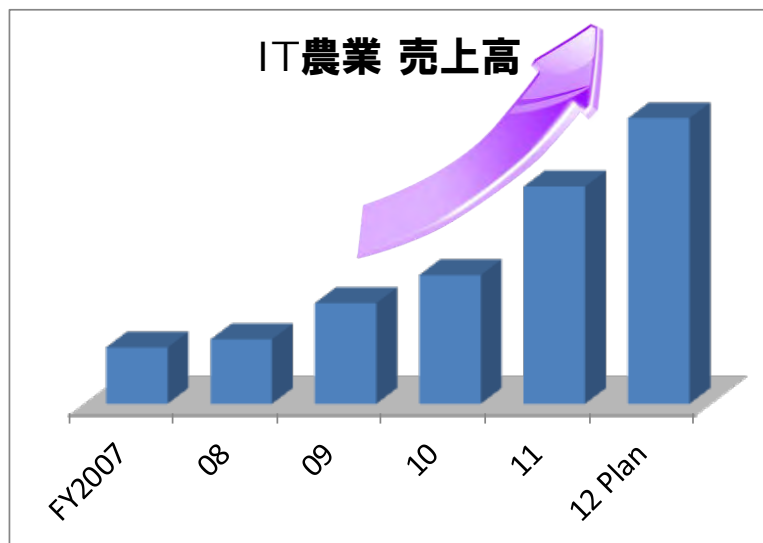
New



2. ポジショニング – 商品力強化:差別化商品で農業シェア拡大

新製品でIT農業分野のシェア拡大

New 世界最小オートステアリングシステムの投入
(小型トラクターへの装着もより簡易に)



3. アイケア – 事業戦略

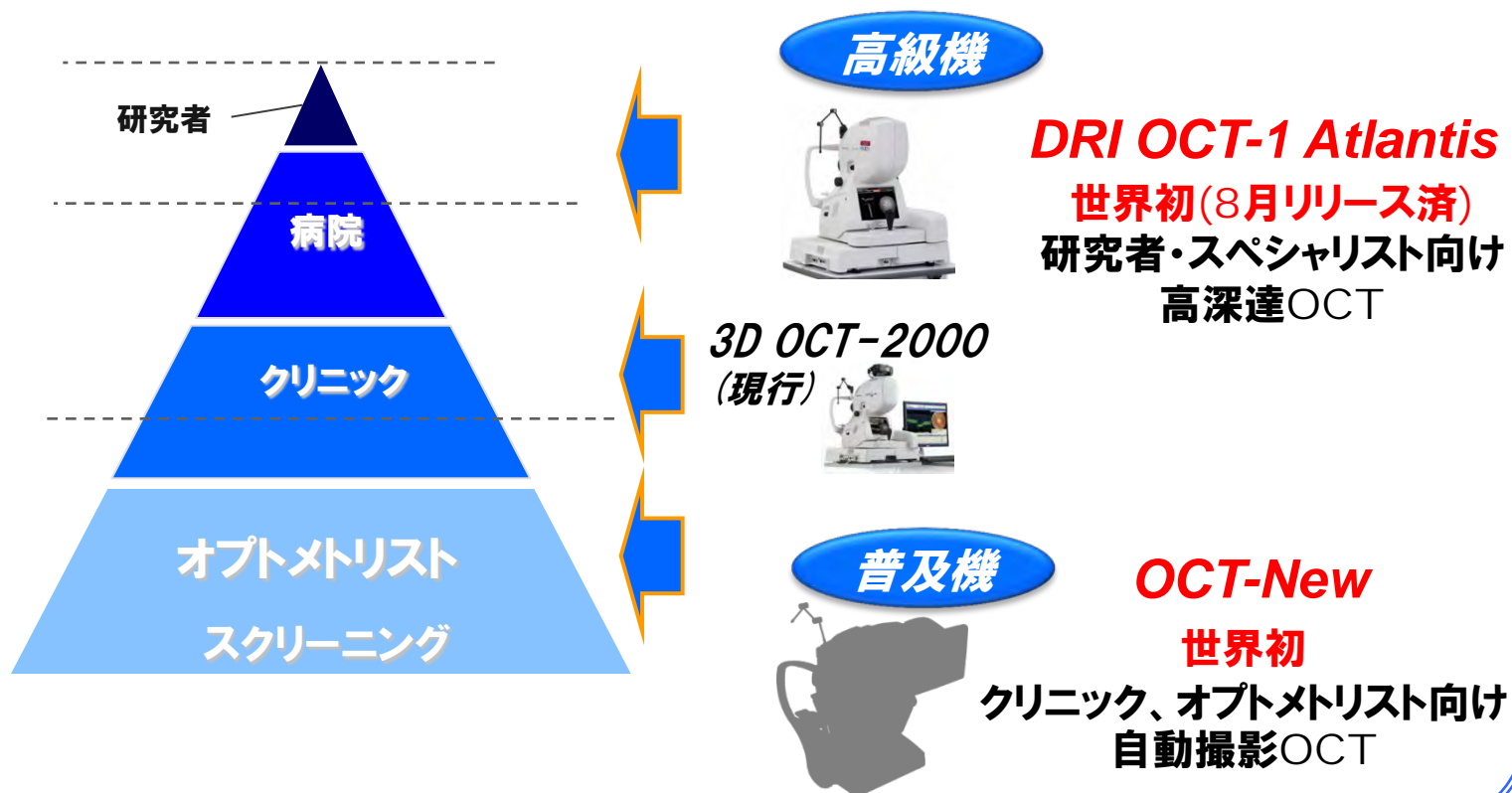
下期拡販施策

- 戦略的新製品の投入
- ビジョンケアビジネス新展開



3. アイケア – 商品力強化:フルラインアップでOCT市場を制覇

- **世界初**の高深達OCTを投入(高級機)
- **世界初**の自動撮影OCTを投入(普及機) → フルラインアップを実現



3. アイケア – 商品力強化:治療器のラインアップ強化

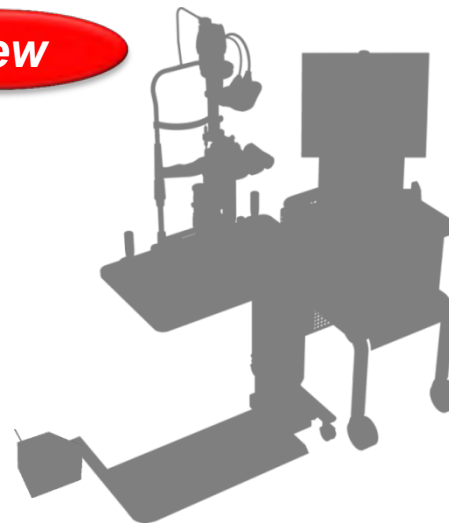
■ 世界初のパターンレーザ治療器PASCALに新ラインアップ投入

PASCAL Streamline(発売済)



新PASCAL(アタッチメントタイプ)

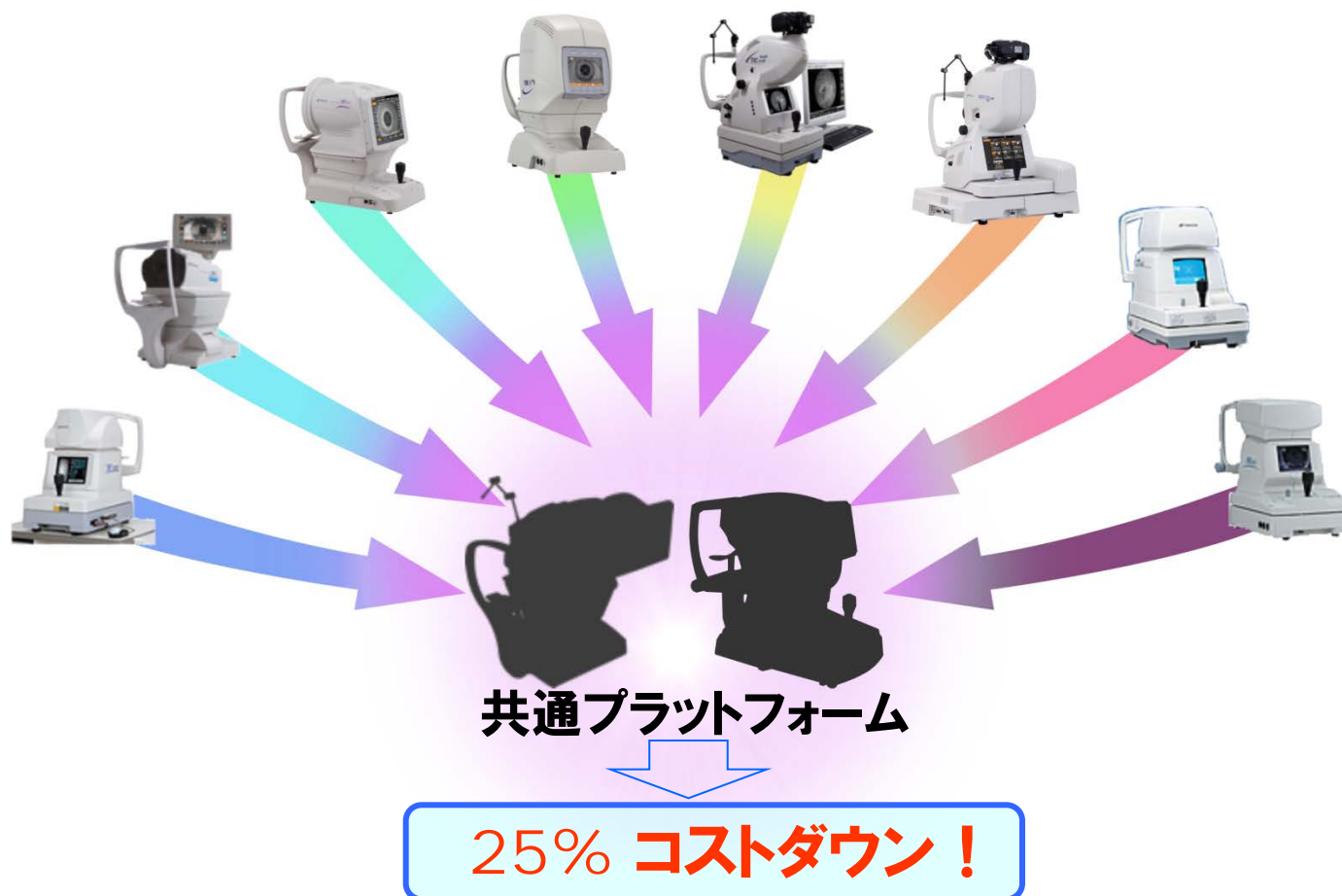
New



20% コストダウン!

3. アイケア – 商品力強化:プラットフォーム共通化による価格競争力アップ

■ 共通プラットフォーム化により大幅コストダウンを実現



3. アイケア – 事業構造改革

国内ビジョンケアビジネスの推進

- 11月1日「株式会社トプコンビジョンケアジャパン」新設
分社化による**スピード経営**を目指す



利益体質の強化 *スピードと実行力!*

- 中計の**2年前倒し**を実行し、中計最終年度の**利益計画を確保**
- トプコンの強みのグローバル力を発揮し、**世界初、世界NO.1**商品を作り続ける

**“中計2014”最終年度のROE目標20%を
達成すべく企業価値向上に努めます**



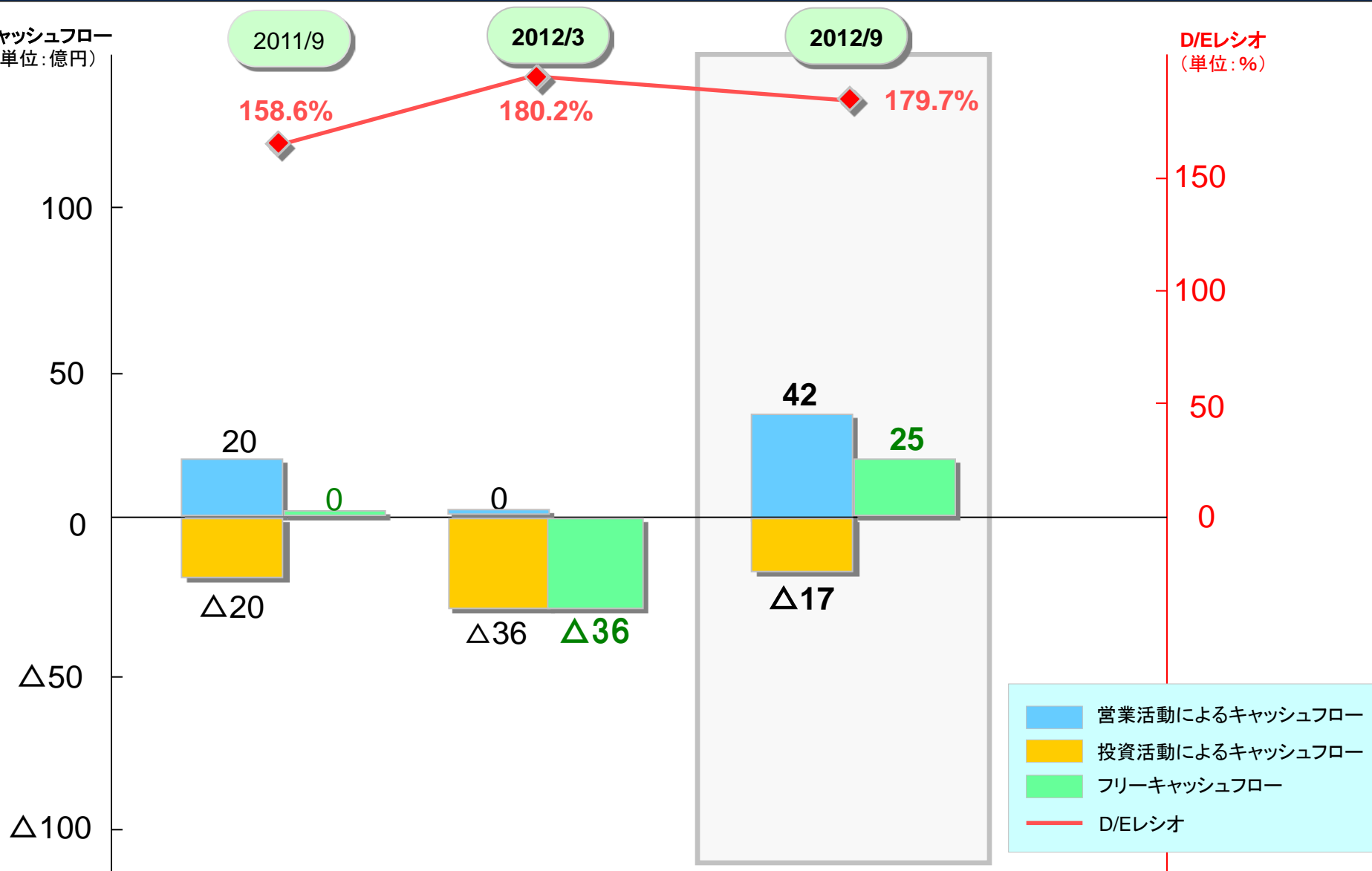
III. 参考資料

連結キャッシュフロー

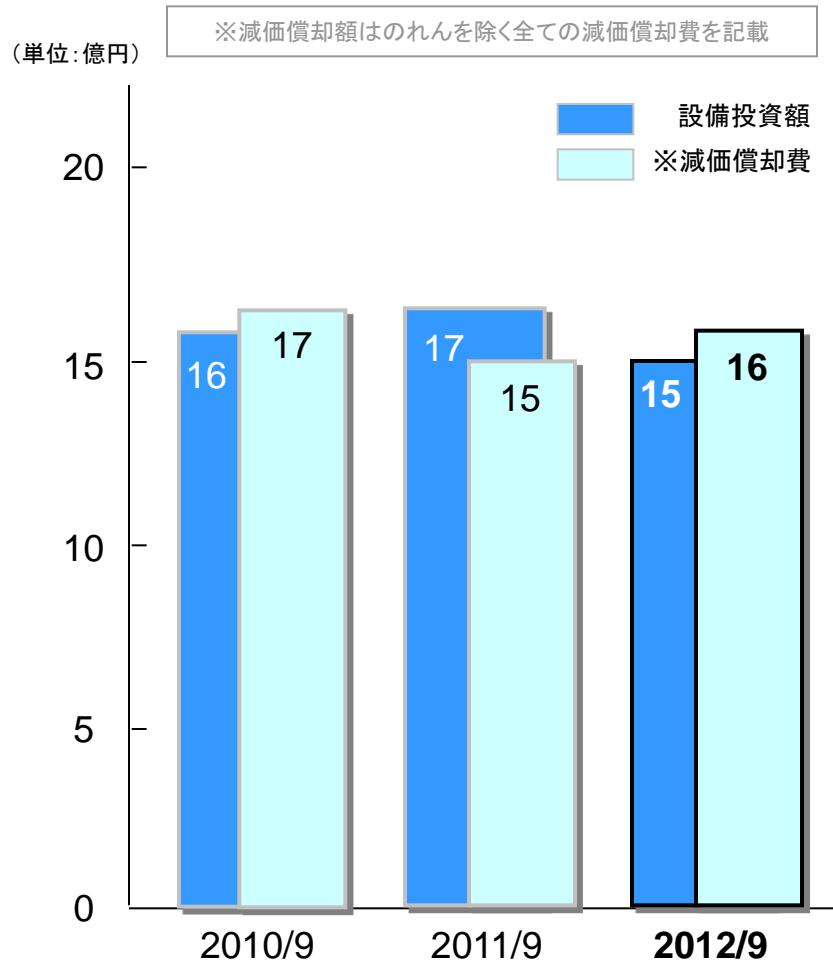


キャッシュフロー
(単位: 億円)

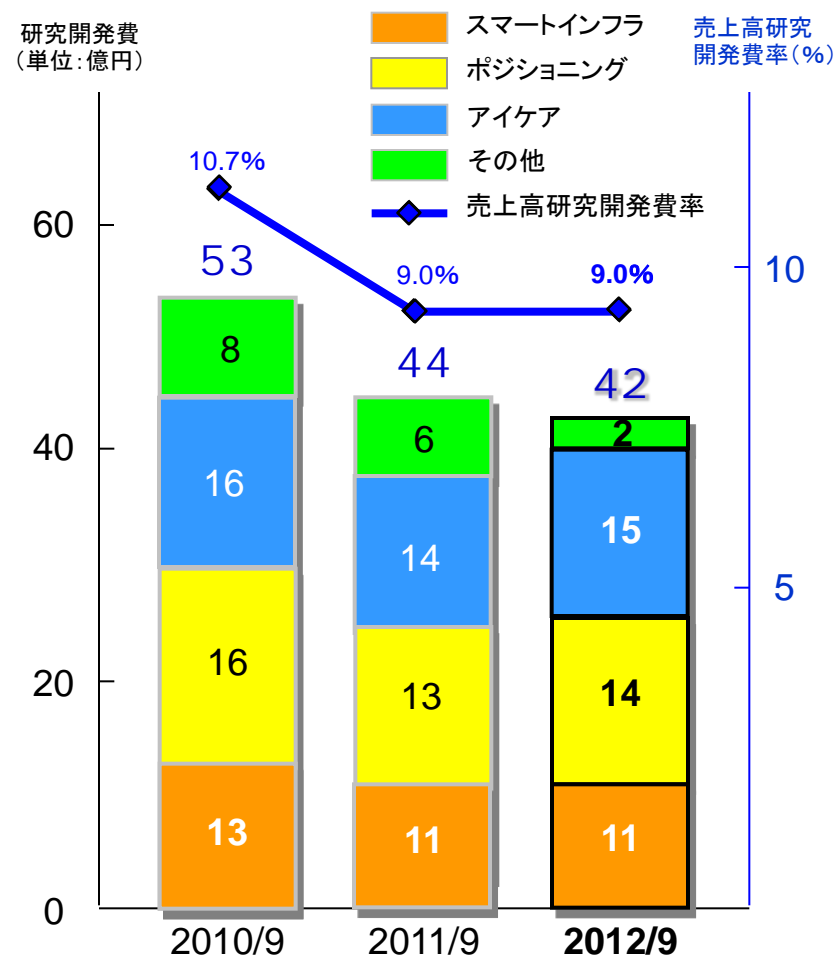
D/Eレシオ
(単位: %)



設備投資額・減価償却費



研究開発費



為替の影響度

		為替レート	為替変動による影響額(下期以降)	
		2012年度 下期前提レート	売上高	営業利益
1円変動による影響	対US\$	75円/US\$	3億円	1億円
	対EUR	95円/EUR	1億円	0.5億円
0.01ドル変動による影響	対EUR	1.27US\$/EUR		0.1億円

地域別

● 米州
● ヨーロッパ
● 日本
● 新興国

FY2012
上期 下期

→	→
→	→
→	→
→	→

《上期 状況》

- ▶ 先進国では円高と市況の不透明感で市場は横ばい
- ▶ 新興国市場は拡大するも、金融不安・政情不安の影響もあり地域により期待ほど伸びず

《下期 予想》

- ✓ 米国市場は住宅市場の改善の兆しで緩やかな回復
- ✓ 欧州は景気悪化が持続
- ✓ 中国はカントリーリスクの懸念
- ✓ 新興国は金融不安あるも地域によりインフラ投資で成長

市場別

● 土木・建設
● IT農業
● 測量・GIS
● 計測

FY2012
上期 下期

→	→
→	→
→	→
→	→

《上期 状況》

- ▶ IT施工、IT農業、計測分野堅調
- ▶ 測量分野は円高と競合激化の影響が大きく横ばい
- ▶ 新興国市場で高付加価値商品の需要増

《下期 予想》

- ✓ IT施工、IT農業、計測分野の全世界的拡大
- ✓ 引き続き新興国市場で高付加価値商品の需要拡大

地域別

● 米州
● ヨーロッパ
● 日本
● アジア

FY2012	
上期	下期

《上期 状況》

- ▶ 米国は大統領選を控え様子見傾向
- ▶ 欧州経済は引き続き低迷
- ▶ 日本の市場は横ばい 乃至 微増 / 眼科開業医・クリニック増加傾向
- ▶ 中国・インド・新興国経済は堅調、ヘルスケア市場拡大

《下期 予測》

- ✓ 米国は緩やかな回復傾向
- ✓ 欧州経済は引き続き低迷
- ✓ 日本眼科市場は、高齢化社会が本格化する中、需要増加を期待
- ✓ 中国との外交問題長期化懸念

市場別

● 眼科
● 眼鏡
● 糖尿病・緑内障 スクリーニング

FY2012	
上期	下期

《上期 状況》

- ▶ 景気低迷により眼科設備投資手控え、入札案件減少
- ▶ 眼鏡市場は世界的にチェーン店に集中
- ▶ スクリーニング市場堅調

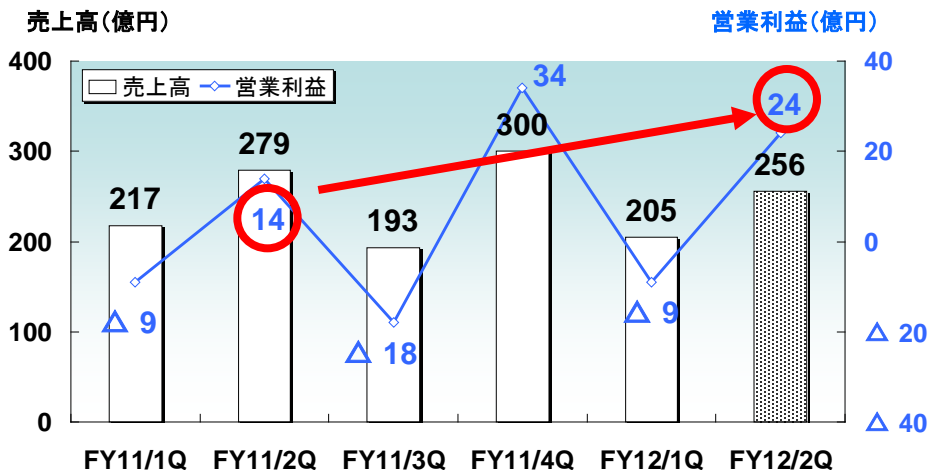
《下期 予測》

- ✓ 景気低迷により眼科設備投資手控え、入札案件減少
- ✓ 新興メーカーの市場参入活発化
- ✓ スクリーニング市場堅調

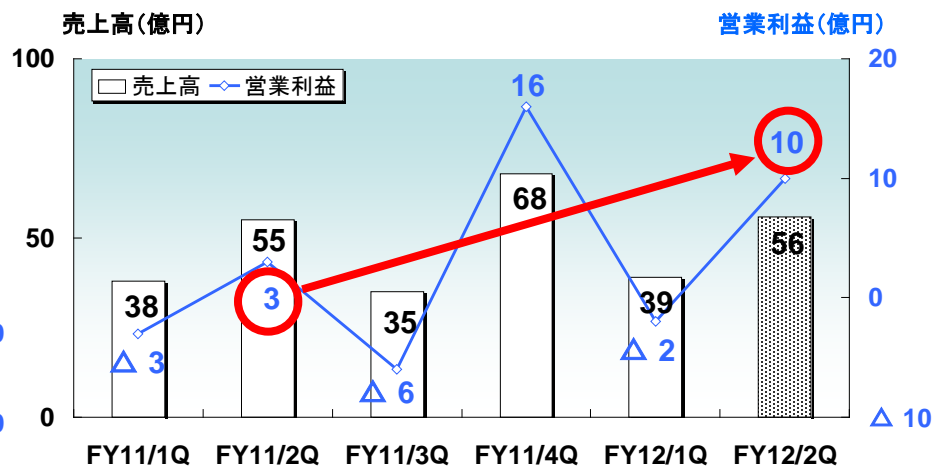
参考資料（四半期別業績推移）



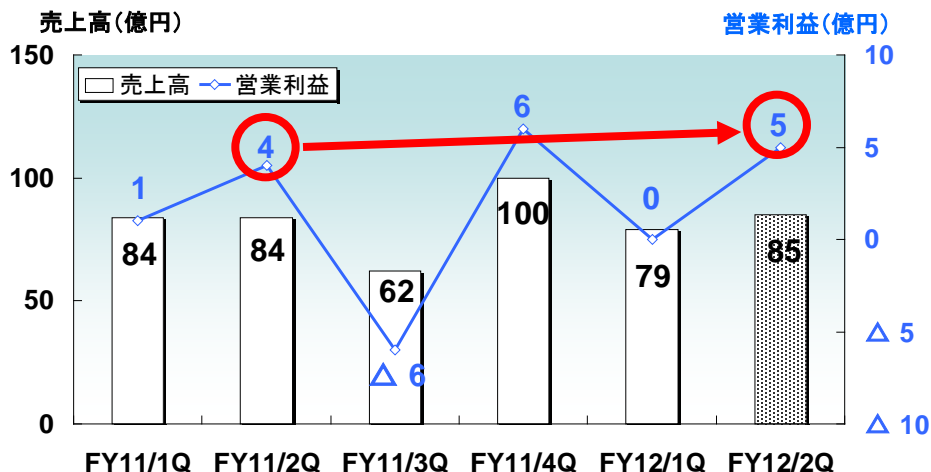
1. 全社



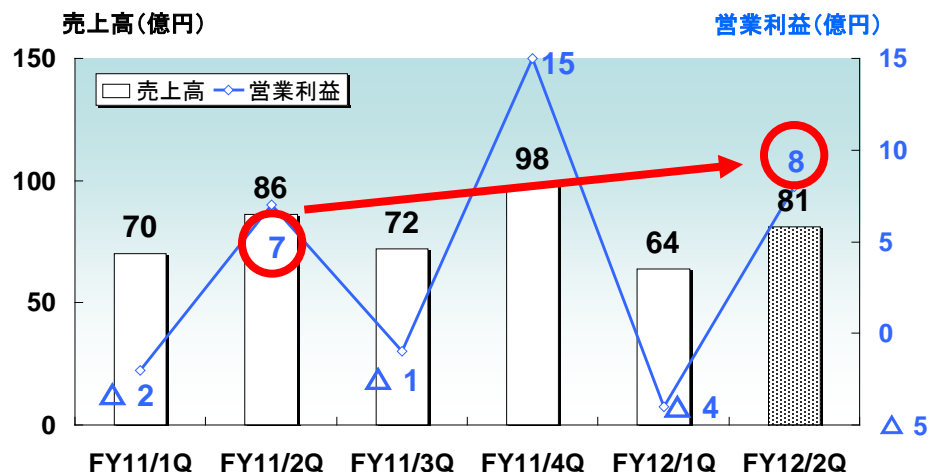
2. スマートインフラ



3. ポジショニング



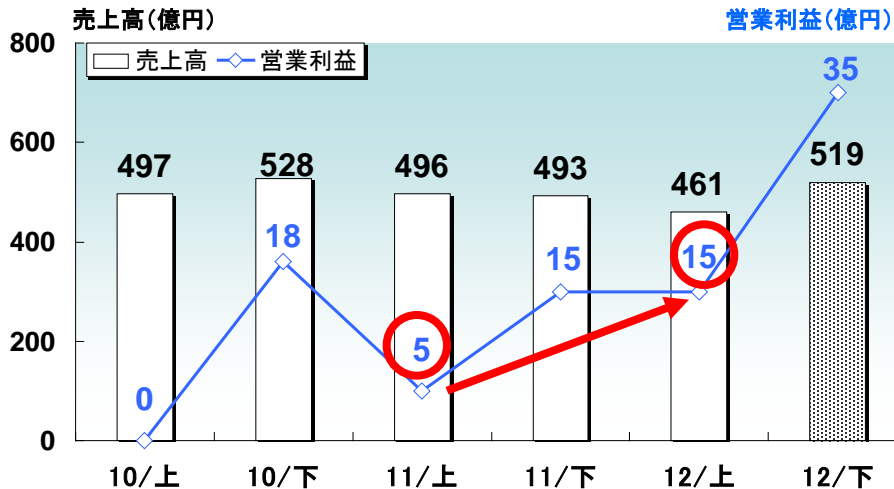
4. アイケア



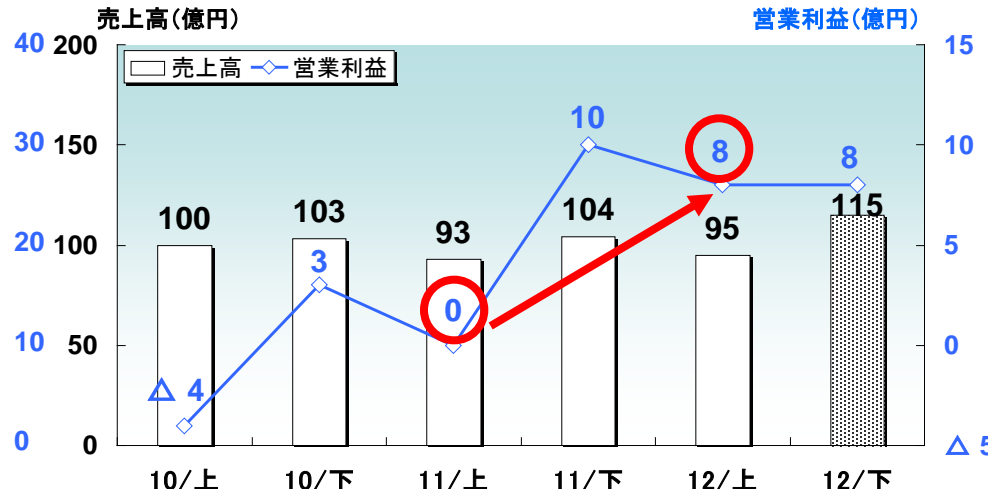
参考資料（半期別業績推移）



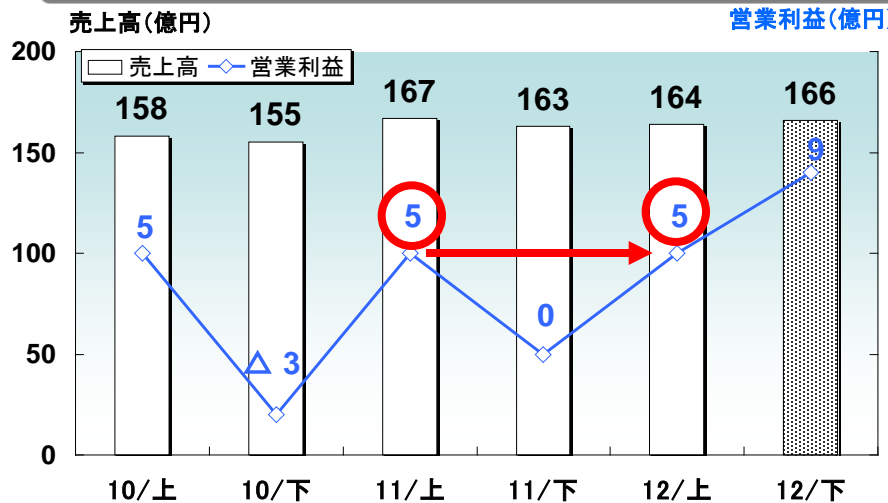
1. 全社



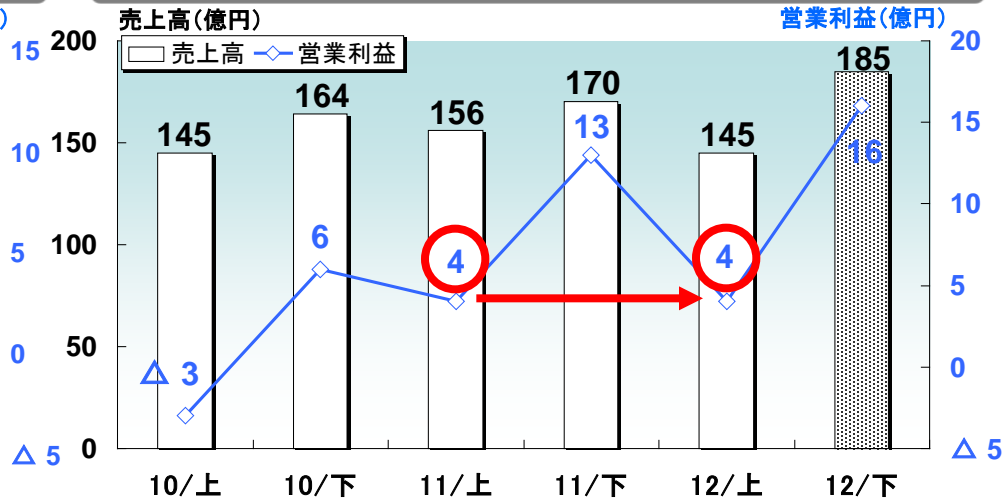
2. スマートインフラ



3. ポジショニング



4. アイケア



当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。



お問い合わせ先

株式会社トプコン 経理グループ 広報・IR部

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <http://www.topcon.co.jp>